

てつなぎ

保健だより

夏のような太陽が照り付ける日もあり、学校行事中に熱中症で搬送されるニュースをよく見かけるようになりました。戸外活動はもちろん、室内活動でもこまめな健康観察や水分補給などを心がけていきたいと思います。

今月は「WBGT」「夏に起こりやすい水の事故」についてお知らせ致します。

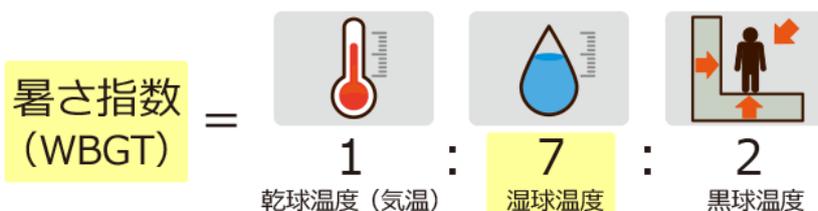


暑さ指数 (WBGT) って？

指数 (WBGT：湿球黒球温度) とは、人間の熱バランスに影響の大きい「気温・湿度・輻射熱 (ふくしゃねつ)」※1の、3つを取り入れた温度の指標です。

熱中症の危険度を判断する数値として、環境省では平成 18 年から暑さ指数 (WBGT) の情報を提供しています。暑さ指数 (WBGT) は乾球温度計、湿球温度計、黒球温度計による計測値を使って計算されます。

※1 輻射熱とは、日射しを浴びたときに受ける熱や、地面、建物、人体などから出ている熱です。温度が高い物からはたくさん出ます。



(赤)危険	:31~
(橙)嚴重警戒	:28~31
(黄)警戒	:25~28
(水)注意	:21~25
(青)ほぼ安全	:~21

暑さ指数 (WBGT) が 28 (嚴重警戒) を超えると、熱中症患者が著しく増加します。

保育園では子ども達が活動するところに WBGT を計測する器械を設置し、活動前に数値の確認をし、その日の活動を決めています。参考文献でもある熱中症予防サイト (<https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt.php>) からも「全国の WBGT の実況と予測」が見る事が出来ますので、ぜひご家庭でも参考にしてみてください。

7月25日は「世界溺水防止デー」

令和3年4月の国連総会での採択により毎年7月25日は「世界溺水防止デー」と宣言されています。世界では、毎年、推定23万6千人が溺れており、溺死は1歳から24歳までの子どもと若者の死因の上位10位以内に入っています。

日本では、厚生労働省「人口動態調査」によると0～1歳では浴槽での溺死、より活動的になる5歳以上では、自然水域での溺死が最も多く発生しています。

〈溺水防止の考え方〉

- ❖ 子どもだけで水に近づかない、近づかせない工夫を
- ❖ 子どもが水に接する場合、大人は目を離さず手の届く範囲で見守りを
- ❖ 水に関する危険と対処法を学習し、事前の準備を



子どもは声や音を出さず静かに溺れることもあります。少しの時間、少しの水量と油断せず、子どもの見守りと合わせて溺水事故が起こらない環境づくりを行いましょう！

○子どもの水の事故を防止するためのポイント○

浴室 子どもが浴室で溺水し死亡する事故が多発!!

- ・ 大人が洗髪する際には、子どもを浴槽から出す。
- ・ 子どもは大人の後には浴室に入れ、先に浴室から出す。
- ・ 子どもだけで入浴させない。
- ・ 浴槽、洗濯機、洗面器、バケツに水をためたままにしない。



海・川 ライフセーバーや監視員等がいる海水浴場の遊泳エリア内で遊ぶ。

- ・ 川の流は一見穏やかそうに見えても、流れが一定ではないため、穏やかそうな流れで事故は起きている。
- ・ ライフジャケットを使用。
- ・ 大人は子どもから目を離さず手の届く範囲で見守る。

プール 禁止事項などが定められていたら必ず守る。

- ・ 排水口には近づかない。
- ・ 水上設置遊具を利用する際は、係員の指示に従い、適切な遊び方・注意事項・禁止事項を守る。



近年では水遊びの際にライフジャケットを着用させる方が増えています。子どもにあったライフジャケットを選び、正しい使い方をして子どもの命を守りましょう。

(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/)

6月の様子 5月後半から、診断名の付かない発熱のお子さんが増えています。アデノウイルスが数名、ヘルパンギーナ疑いが数名いましたが、他診断はありません。近隣の感染症流行状況にも注意しながら、経過を見ていきます。体調がすぐれない時はご家庭での療養にご協力をお願い致します。(小野田久美子)